

Ⅲ 健康増進課関係業務

1 健康づくり事業関係

(1) 「健康上十三21」の推進について

上十三地域の早世の減少と健康寿命の延伸を目標に、発病を予防する一次予防の重視を基本に、重点戦略4領域（①栄養・食生活 ②こころの健康づくり ③たばこ ④アルコール）と、その他の領域（①身体活動・運動 ②歯の健康 ③糖尿病 ④循環器病 ⑤がん）の行動目標を掲げ、各領域で健康づくりを推進した。

(2) 「市町村健康づくり計画」の推進について

各市町村健康づくり推進協議会等を通して、健康づくり推進状況を把握し、効果的推進について支援した。

(3) 各市町村健康づくり推進協議会等への参加

保健所長が、各市町村の健康づくり推進協議会等の委員として委嘱され、各市町村の推進協議会等へ出席した。

なお、十和田市生涯健康づくり推進協議会には専門部会が組織されており、その部会の委員として、健康増進課長及び健健づくり（母子・精神）担当者が委嘱され、出席した。

市町村名	期 日	会 議 名	出 席 者
十和田市	平成22年12月13日	母子保健部会	健康づくり（母子）担当者
	平成22年12月13日	市民健康部会	健康増進課長
	平成22年12月14日	生活習慣病予防部会	保健所長
	平成22年12月16日	こころの健康づくり部会	健康づくり（精神）担当者
	平成23年3月22日	生涯健康づくり推進協議会	保健所長
三 沢 市		健康推進対策協議会	震災により中止
野辺地町	平成22年5月14日	健康づくり推進協議会	保健所長、健康増進課長
	平成22年11月5日	健康づくり推進協議会	保健所長、健康増進課長
七 戸 町	平成22年12月24日	健康づくり推進協議会	保健所長、健康増進課長
六 戸 町	平成22年6月30日	健康づくり推進協議会	健康増進課長
	平成23年3月15日	健康づくり推進協議会	震災により中止
横 浜 町	平成22年8月19日	健康づくり推進協議会	保健所長、健康増進課長
	平成23年2月15日	健康づくり推進協議会	保健所長、健康増進課長
東 北 町		健康づくり推進協議会	未実施
六ヶ所村	平成22年7月29日	健康づくり推進協議会	保健所長、健康増進課長
	平成23年3月24日	健康づくり推進協議会	震災により中止

(4) 親子ヘルスアップ大作戦事業

子と親の2世代を対象とした肥満予防、喫煙防止の取り組みにより、適切な生活習慣の親子を増加させることを目的に、市町村・地域・関係機関が連携した取り組みを実施した。

ア 親子の歩育・食育推進事業

子どものための運動プログラム研修会の実施

期 日	場 所	内 容	講 師	参加者数
平成23年 1月14日 18:30～ 20:00	三沢市総合社 会福祉センタ ー	1 講義『『歩育』と『子どものための運動プログラム』の効果と活用について』 2 実習「子どものための運動プログラム」	八戸大学 人間健康学部 准教授 三本木 温 氏	保育園・幼稚園 職員 57名 市町村保健師 1名 保健所保健師 3名 計 61名

イ 親子の喫煙防止推進事業

新生児訪問に係わる助産師・訪問看護師等研修会の実施（母子保健ネットワーク会議と併催）

期 日	場 所	内 容	講 師	参加者数
平成23年 2月10日 14:00～ 16:00	三沢市立三沢 病院 1階第2会議室	テーマ:ハイリスク妊婦支援の充実「禁煙継続に向けての妊産婦への支援について」 1 「産婦継続禁煙に向けての取り組み」(第2報) 2 「上十三保健所管内妊婦喫煙状況のまとめ及び妊産婦への禁煙支援の3つのポイント」について情報提供 3 医療機関及び市町村での取り組み状況について意見交換	野辺地町保健師 秋元 詩帆 氏 上十三保健所 主査 工藤明美	市町村（保健師、 新生児訪問に係わ る助産師・看護師） 18名 医療機関 7名 保健所 5名 計 30名

(5) 喫煙対策推進事業

喫煙は、肺がんや虚血性心疾患、慢性閉塞性肺疾患など多くの疾患の危険因子であり、また、喫煙者だけでなく、周囲の非喫煙者にも健康被害を及ぼすことから、喫煙対策は生活習慣病を防止する上で重要な課題である。

そこで、喫煙による健康障害に対する予防意識の普及啓発を図り、「健康あおもり21」（たばこ領域）の基本指針及び行動目標を実現することを目的に、防煙・禁煙教室、受動喫煙防止対策推進のための研修会や空気クリーン施設の登録を行った。

ア 防煙教室・禁煙教室実施状況

	期 日	場 所	内 容	講 師	参加者数
1	平成 22 年 6 月 10 日	十和田舎同庁舎	講話 「メタボとタバコ」	上十三保健所 所長 反町 吉秀	地域県民局職員 40名
2	平成 22 年 6 月 22 日	十和田警察署	講話 「受動喫煙の影響」	上十三保健所 所長 反町 吉秀	警察署員 60名
3	平成 22 年 7 月 23 日	青森県立営農大 学校	講話 「たばこ・肥満に関する健康管理」	上十三保健所 研修医 安江 千尋	1 学年、2 学年 生徒 80名
4	平成 22 年 7 月 27 日	十和田地域広域 事務組合消防本 部	講話 「タバコの害、禁煙のすすめ」	上十三保健所 研修医 西川 裕行	消防署員 30名
5	平成 22 年 8 月 26 日	三沢市立第三中 学校	講話 「未成年はなぜ喫煙してはいけないのか」	上十三保健所 研修医 深野 雄一郎	1 学年生徒 30名
6	平成 22 年 11 月 30 日	十和田市立三本 木中学校	講話 「成長期を健康に過ごすために～ たばこの害について～」	上十三保健所 研修医 太田 香織	2 学年生徒 160名
7	平成 23 年 3 月 1 日	十和田食肉衛生 検査所	講話 「メタボとタバコ」	上十三保健所 所長 反町 吉秀	本所及び支所職 員 40名

イ 研修会及び広報活動・調査等

- (ア) 食品衛生協会の協力により食品衛生責任者講習会において、パンフレットを配布し、受動喫煙防止対策と空気クリーン施設推進事業の普及啓発を行った。
- (イ) 保健所長が各公署（6/10 十和田合同庁舎、6/22 十和田警察署、7/27 十和田地域広域事務組合消防本部、3/1 十和田食肉衛生検査所）の管理者をとおして、受動喫煙防止対策の研修会を行った。
- (ウ) 5/25 保育所長会議、6/9・6/16 給食施設衛生講習会において空気クリーン施設推進事業の普及啓発を行った。
- (エ) ホームページに、世界禁煙デー及び受動喫煙防止対策強化と空気クリーン施設推進事業について掲載し、普及啓発を行った。
- (オ) 「空気クリーン施設」のうち、分煙登録している施設の状況把握と、完全禁煙への登録替えを実施した。
- (カ) 管内市町村施設の受動喫煙防止対策実施状況調査を実施した。（5月）
- (キ) 温泉、ボーリング場の喫煙についての苦情への対応を行った。
- (ク) 随時、教材等の貸し出しを実施した。

ウ 健康あおもり推進隊『空気クリーン施設（受動喫煙防止対策実施施設）』・『空気クリーン車（受動喫煙防止対策実施車両）』推進事業

平成15年5月1日から施行された健康増進法において、受動喫煙による健康への悪影響を排除するために、多数の者が利用する施設管理者は、受動喫煙防止する措置を講ずるよう努めなければならない旨が規定された。

このことから、施設管理者及び飲食店経営者、タクシー会社管理者に対し、禁煙の措置を講ずるよう支援し、住民の良好な健康づくりのための環境整備に資することを目的に、「空気クリーン施設」の登録制度の普及を促進した。（平成23年3月末現在で258施設登録）

空気クリーン施設 施設種別・市町村別登録状況（平成23年3月末現在）

*施設種別	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	計
十和田市	3		19	39	2		5		6		4	5	83
三沢市	6	2	8	18			2		4				40
野辺地町			6	11			1						18
七戸町	7	8	14	7	3	7	5		1	0	12		64
六戸町	2	2	7	5		2			2		2		22
横浜町	1		4	1					2				8
東北町			5	4	2				1		2		14
六ヶ所村	1		5	2			1						9
合計	20	12	68	87	7	9	14	0	16	0	20	5	258

*施設種別：1官公庁 2文化施設 3教育・保育施設 4医療施設 5福祉・介護施設 6体育施設 7事業所
8公共交通機関 9飲食店 10宿泊施設 11その他施設 12タクシー車輛

*喫煙対策推進事業実施要綱が平成20年度に改正になり「空気クリーン施設」の条件は、禁煙のみとなった（分煙は認めず）。

（6） 保健協力員の育成

保健協力員が活動に関する学習と情報交換を行い、活動を活性化するとともに、健康づくりの推進に役立てることを目的に総会、研修会役員会を実施した。

ア 上十三保健所管内保健協力員連絡会役員会

回数	期 日	場 所	内 容	参加者数
1	平成22年 5月24日 (月)	上十三保健所	1 平成22年度事業計画について 2 情報交換（各市町村の活動目標等） 3 その他	保健協力員 8名 市町村職員 9名 保健所職員 2名
2	平成23年 3月3日 (木)		1 平成22年度事業報告について 2 平成23年度事業計画について 3 情報交換	保健協力員 7名 市町村職員 8名 保健所職員 2名

イ 上十三保健所管内保健協力員連絡会総会及び研修会

期 日	場 所	内 容	参加者数
平成22年 9月22日 (水)	六ヶ所村文化 交流プラザ スワニー	< 総会 > 1 平成21年度事業報告及び決算報告 2 平成22年度事業計画及び予算案	保健協力員 104名 市町村職員 10名 保健所職員 2名
		< 研修会 > 研修テーマ：「最新情報 生活とお金」 講師：行政書士 奥川春美氏（むつ市） < 活動発表 > リズム体操披露 演者：六ヶ所村 保健協力員協議会	

ウ 役員研修会

期 日	場 所	内 容	参加者数
平成22年 6月21日 (月)	上十三保健所	1 最新情報の学習 テーマ：結核について 講師：上十三保健所長 反町吉秀 2 情報交換	保健協力員 13名 市町村職員 7名 保健所 2名

エ 管内市町村保健協力員数

(平成22年度)

市町村名	保健協力員数	市町村名	保健協力員数
十和田市	229	六戸町	75
三沢市	116	横浜町	62
野辺地町	104	東北町	178
七戸町	174	六ヶ所村	90
		計	1,028名

2 母子保健事業関係

(1) 未熟児訪問指導実施状況

(平成22年度)

	訪問指導件数 (実人員)	＜再掲＞出生体重別件数（実人員）					
		500～999g	1000～1499g	1500～1999g	2000～2499g	2,500g以上	
管内	十和田市	10(6)	2(1)	1(1)	7(4)	0(0)	0(0)
	三沢市	10(8)	0(0)	0(0)	8(6)	2(2)	0(0)
	野辺地町	5(6)	0(0)	2(3)	2(2)	1(1)	0(0)
	七戸町	5(3)	0(0)	0(0)	4(2)	1(1)	0(0)
	六戸町	4(2)	0(0)	4(2)	0(0)	0(0)	0(0)
	横浜町	0(0)	0(0)	0(0)	0(0)	0(0)	0(0)
	東北町	1(1)	0(0)	0(0)	1(1)	0(0)	0(0)
	六ヶ所村	9(8)	0(0)	0(0)	6(6)	3(2)	0(0)
	小計	44(34)	2(1)	7(6)	28(21)	7(6)	0(0)
管外(里帰り等)計	21(10)	3(1)	0(0)	8(2)	7(5)	3(2)	
合計	65(44)	5(2)	7(6)	36(23)	14(11)	3(2)	

() は実人員

(2) 療育相談（肢体不自由児等）

発育・発達に心配のある児童及び未熟児等を対象に整形外科専門医による相談を年12回実施した。(十和田会場6回、三沢会場6回)

(平成22年度)

市町村名	相談人員	再掲		
		要治療	治療不要	経過観察
十和田市	41(21)	8(4)	3(4)	30(13)
三沢市	36(18)	8(4)	8(8)	20(6)
野辺地町	8(3)	0	0	8(3)
七戸町	13(8)	0	3(3)	10(5)
六戸町	12(6)	4(3)	0	8(3)
横浜町	2(1)	2(1)	0	0
東北町	1(1)	0	0	1(1)
六ヶ所村	0(0)	0	0	0
管外	0(0)	0	0	0
計	113(58)	22(12)	14(15)	77(31)

() は実人員

(3) 長期療養児療育相談指導事業

疾病により、長期にわたり療養を必要とする児童について、小児科専門医等による相談及び小児慢性特定疾患医療券交付時の面接による相談、新規申請者における日常生活の把握をし、支援強化を図った。

(平成22年度)

事業内容	専門医による相談		保健師による相談指導		
	小児慢性 特定疾患	未 熟 児	家庭訪問	随時相談	電話相談
相談件数	1	0	6	31	11

(4) 養育医療・育成医療給付申請等処理状況 (平成22年度)

市町村	区分	養育医療	育成医療
十和田市		8	24
三沢市		12	11
野辺地町		8	2
七戸町		5	1
六戸町		3	3
横浜町		0	5
東北町		0	6
六ヶ所村		6	3
管内計		42	55

(5) 小児慢性特定疾患治療研究事業 (平成22年度)

	区分	十和田市	三沢市	野辺地町	七戸町	六戸町	横浜町	東北町	六ヶ所村	計
01	悪性新生物	7	9	1	2	2		2	2	25
02	慢性腎疾患	2	3	1	1	1		1	3	12
03	慢性呼吸器疾患		1		1					2
04	慢性心疾患	10	11	1				4	6	32
05	内分泌疾患	16	11	1	5	3	1	5	2	44
06	膠原病	6		2		1		2		11
07	糖尿病	4	3					3		10
08	先天性代謝異常	4	2		1					7
09	血友病等血液・免疫疾患	3	1		1					5
10	神経・筋疾患	1	4		1					6
11	慢性消化器疾患	4	1					1		6
	計	57	46	6	12	7	1	18	13	160

(6) 小児慢性特定疾患児手帳（ひまわり手帳）交付事業 (平成22年度)

疾患名	件数	疾患名	件数
悪性新生物	3	糖尿病	0
慢性腎疾患	0	先天性代謝異常	0
慢性呼吸器疾患	0	血友病等血液・免疫疾患	2
慢性心疾患	3	神経・筋疾患	0
内分泌疾患	7	慢性消化器疾患	0
膠原病	3	計	18

(7) 先天性代謝異常検査等実施状況 (平成22年度)

区分	先天性代謝異常検査					先天性副腎過形成症				先天性甲状腺機能低下症			
	件数	正 常	疑 陽 性	判 定 不 能	要 精 検	件数	正 常	疑 陽 性	要 精 検	件数	正 常	疑 陽 性	要 精 検
十和田市	488	488	0	0	0	489	488	1	0	490	488	2	0
三沢市	362	362	1	0	0	362	359	1	2	363	361	2	0
野辺地町	100	100	0	0	0	100	100	0	0	101	99	2	0
七戸町	103	103	0	0	0	103	103	0	0	103	103	0	0
六戸町	72	72	0	0	0	72	72	0	0	73	72	1	0
横浜町	40	39	1	0	0	39	39	0	0	39	39	0	0
東北町	136	136	0	0	0	136	136	0	0	139	136	3	0
六ヶ所村	115	115	0	0	0	115	115	0	0	118	115	3	0
計	1,416	1,326	2	0	0	1,416	1,322	2	2	1,426	1,326	13	0

(8) 妊婦連絡票実施状況

(平成22年度)

市町村名	妊娠届出数 A	妊婦連絡票提出数 B (B/A)	妊婦保健指導報告書発行数 C (C/B)	指導週数別				指導方法別				要訪問指導妊産婦連絡票受理数	指導結果報告機関		妊婦連絡票の提出はないが、保健指導を実施した数 L (L/A)
				～11週 d (d/C)	12～19週 e (e/C)	20～27週 f (f/C)	28週～ g (g/C)	窓口 h (h/C)	訪問 i (i/C)	電話 j (j/C)	その他 k (k/C)		保健所	市町村	
十和田市	443	440 (99.3)	439 (99.1)	334 (75.4)	93 (21.0)	6 (1.4)	6 (1.4)	439 (99.1)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	18	2	8	3 (0.6)
三沢市	439	435 (99.1)	432 (98.4)	388 (88.2)	40 (9.1)	3 (0.7)	1 (0.2)	432 (98.4)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	30	3	27	48 (10.9)
野辺地町	92	92 (100)	92 (100)	83 (90.2)	5 (5.4)	2 (2.1)	2 (2.1)	92 (100)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	11	1	11	0 (0)
七戸町	101	100 (99.0)	100 (99.0)	86 (85.1)	11 (10.9)	1 (1.0)	2 (19.8)	100 (99.0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	9	0	9	1 (1.0)
六戸町	71	71 (100)	70 (98.6)	61 (85.9)	6 (8.5)	3 (4.2)	0 (0)	67 (94.4)	2 (2.8)	1 (1.4)	0 (0)	4	0	2	1 (1.4)
横浜町	27	27 (100)	27 (100)	23 (85.2)	3 (11.1)	1 (3.7)	0 (0)	27 (100)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0	0	0	0 (0)
東北町	117	117 (100)	117 (100)	99 (84.6)	15 (12.8)	1 (0.9)	2 (17.1)	117 (100)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	10	0	7	0 (0)
六ヶ所村	111	110 (99.1)	110 (99.1)	99 (89.2)	10 (9.0)	1 (0.9)	0 (0)	109 (98.2)	0 (0)	0 (0)	1 (0.9)	1	0	0	1 (0.9)
計	1,401	1,392 (99.4)	1,387 (99.0)	1,173 (83.7)	183 (13.1)	18 (1.3)	13 (1.0)	1,383 (98.7)	2 (0.1)	1 (0.1)	1 (0.1)	83	6	64	54 (3.9)

()は%

(9) 母子保健ネットワーク会議等 —妊産婦支援体制整備事業—

虐待による死亡が生じ得るリスク要因として、保護者側の強い抑うつ状態が挙げられており、その対策として、育児の孤立化、育児不安の防止に努める「発症予防」の視点から、地域養育支援体制を整備する。

ア 母子保健ネットワーク会議

保健・医療・福祉及び教育等関係者等により、市町村や関係機関が実施する母子保健対策の推進に係る協議を行う。

期 日	場 所	出席者	内 容
平成 23 年 2 月 10 日	三 沢 市 立 三 沢 病 院	医療機関助産師 5 名 市町村保健師 18 名 保健所 5 名 オブザーバー 2 名	テーマ：ハイリスク妊産婦支援の充実 1 医療機関における EPDS 実施状況 2 未熟児訪問における EPDS 実施状況 3 要訪問指導妊産婦連絡票のまとめ 4 継続禁煙に向けての取り組み

イ 市町村母子保健担当者会議

期 日	場 所	出席者	内 容
平成 22 年 11 月 18 日	上十三保健所	市町村保健師 10 名 保健所 4 名	テーマ：ハイリスク妊産婦の支援 1 市町村母子保健事業について 2 妊産婦連絡票の提出について 3 母子保健をめぐる最新の情報について

ウ 市町村毎の母子保健担当者打ち合わせ

市町村	日程	内 容
十和田市	平成 22 年 6 月 28 日	1 平成 22 度の保健所・市町村母子保健事業 2 妊産婦の喫煙・再喫煙の予防 3 妊産婦連絡票の見直しに係る意見交換 4 エジンバラ産後うつ病スクリーニング及びカンファレンスの実施状況について 5 情報提供
三 沢 市	平成 22 年 7 月 9 日	
野 辺 地 町	平成 22 年 7 月 5 日	
六 戸 町	平成 22 年 7 月 8 日	
七 戸 町	平成 22 年 7 月 1 日	
東 北 町	平成 22 年 7 月 1 日	
横 浜 町	平成 22 年 6 月 30 日	
六ヶ所村	平成 22 年 6 月 30 日	

エ 平成 22 年度開催会議への支援

会議名	期 日	テーマ
十和田市健康づくり推進協議会 母子保健部会	平成 22 年 12 月 13 日	虐待に係る事例検討
七戸町母子保健ネットワーク会議	平成 23 年 2 月 9 日	乳幼児健診から保護者の喫煙について 七戸町の児童生徒のタバコに関する実態・ 意識調査結果

オ 医療機関との連携（医療機関主催）

期 日	医療機関名	対象者数	内 容	参加者数
平成 22 年 4 月 6 日	県立中央病院 NICU	2 名	・周産期母子医療センタ ー情報室からの連絡によ り NICU に入院し、退院予 定児ついて今後の方向等 検討した。	保健所 1 名、七戸町 1 名
平成 22 年 5 月 18 日		2 名		保健所 1 名
平成 22 年 6 月 1 日		1 名		保健所 1 名
平成 22 年 7 月 6 日		1 名		保健所 1 名
平成 22 年 8 月 3 日		1 名		保健所 1 名、三沢市 2 名
平成 23 年 3 月 16 日		1 名		七戸町 1 名

(10) 産後うつ病の予防対策推進事業 —妊産婦支援体制整備事業—

乳児を抱える母親のメンタルヘルスに注意を向け、母親のメンタル面へのサポート体制を構築する。
また、母子保健サービスの中に「虐待予防」の視点を盛り込み、市町村母子保健関係者等の虐待予防に関する資質の向上を図った。

ア 医療機関へのエジンバラ産後うつ病スクリーニングの活用と普及

ほとんどの市町村で実施され、9点以上の場合は再訪問等でフォローしている。高得点のケース検討がなされず今後の課題である。

期 日	場 所	参加者数	内 容
平成23年2月10日	三沢市立三沢病院	医療機関（三沢病院、十和田市立中央病院、藤井産婦人科）7人 市町村（保健師、看護師）18人 保健所5人	1 病院でのEPDS実施状況報告 2 未熟児訪問指導におけるEPDS実施状況報告 3 意見交換

イ 市町村等でのケースカンファレンス（EPDS高得点者、その他の要支援者）

(ア) 上十三保健所 8回 8名（EPDS高得点者7件、精神疾患産婦1件）

(イ) 横浜町 2回 2名（ハイリスク妊婦、統合失調症産婦への支援）

(ウ) 六ヶ所村 2回 2名（EPDS高得点者1件、自宅で死産）

(11) 母子保健地域力向上セミナー（新規）

母子保健との連携が必要な関係者を対象としてセミナーを開催し、母子保健の役割を関係者に周知し、関係者との連携を促進する。

ア 研修会

開催期日	平成23年3月1日（火）14:00～15:30
開催場所	十和田市保健センターホール
参加者	保育園・幼稚園33名、市町村28名、医療機関6名、福祉こども総室6名、上十三保健所9名
開催内容	講演 「精神疾患を持つ妊産婦及び子育て中の母への支援」 講師 高松病院 海老名 恵医師 意見交換

イ 事例検討会

開催期日	平成23年3月11日（金）9:30～11:00
開催場所	六ヶ所村役場
参加者等	小学校、駐在所、六ヶ所村福祉課・健康課、児童相談所、上十三保健所
開催内容	①妊娠7ヶ月で届け出、てんかん治療中断している未入籍妊婦について ②うつ病の母をもつ児童への支援

開催期日	平成 23 年 3 月 11 日（金） 14:00～15:30
開催場所	上十三保健所会議室
参加者等	十和田市福祉事務所・健康推進課、横浜町、児童相談所、上十三保健所
開催内容	①横浜町から十和田市へ転出した統合失調症の妊産婦について *2つの市町村にまたがっていることから、保健所が主催した。

（ 1 2 ） 乳幼児の虐待予防に関すること

要保護児童の早期発見や適切な保護並びに要保護児童及びその家族への適切な支援をする。

ア 市町村要保護児童対策協議会・ケース検討会

市町村名	代表者会議	ケ ー ス 検 討 会	
十和田市	平成 22 年 5 月 24 日	平成 22 年 7 月 9 日	産後うつ病の母のケース会議
七戸町	平成 22 年 7 月 21 日 平成 23 年 3 月 17 日 (地震のため中止)	平成 22 年 8 月 18 日	毎月入院を繰り返す幼児のケース会議
		平成 22 年 9 月 14 日	未入籍妊婦（特定妊婦）
		平成 22 年 10 月 12 日	未入籍妊婦（特定妊婦）
横浜町	平成 22 年 6 月 25 日 平成 22 年 12 月 15 日	平成 22 年 10 月 19 日	未入籍妊婦（特定妊婦）
		平成 22 年 7 月 9 日	特定妊婦への支援
		平成 22 年 8 月 27 日	ネグレクトが疑われる乳児への支援
		平成 22 年 10 月 18 日	一時保護された児童への処遇
		平成 22 年 11 月 22 日	一時保護された児童への処遇
		平成 22 年 12 月 7 日	一時保護された児童への処遇
東北町	平成 23 年 2 月 28 日	平成 22 年 12 月 10 日	養育環境が悪い幼児への処遇
		平成 22 年 12 月 20 日	養育環境が悪い幼児への処遇
六ヶ所村	平成 22 年 10 月 29 日	平成 23 年 3 月 11 日	精神疾患を持つ児童、特定妊婦（知的障害で未婚）

イ その他虐待（疑）事例の相談（保健所長・児相職員等によるカンファレンス）

相談先	年 月 日	内 容
児童相談所	平成 22 年 4 月 27 日	虐待事例の写真判定
児童相談所	平成 22 年 7 月 13 日	虐待事例の写真判定
児童相談所	平成 22 年 9 月 1 日	虐待事例の写真判定
保健所	平成 22 年 9 月 21 日	双胎の一人を虐待
横浜町	平成 22 年 9 月 15 日	一時保護された児童の情報提供
横浜町	平成 22 年 10 月 22 日	母が他県に行ったきり帰ってこない。8人の子どもを置いて
六ヶ所村	平成 23 年 2 月 25 日	特定妊婦

(13) 女性の健康支援事業

ア 女性の健康相談

(ア) 開催日：月1回（毎月第3火曜日） 受付時間：10:00～10:30

(イ) 場 所：上十三保健所 第1相談室

(ウ) 担当者：保健師

相談件数	来所相談 実人員22名（延27件） 〈内訳〉定期 4名（4件） 随時 11名（延16件） 電話相談 実人員 7名（延7件）
相談内容	妊娠、避妊に関する相談 1件 不妊に関する相談 19件 婦人科疾患、更年期障害に関する相談 4件 その他、性感染症を含め女性の心身の健康に関する一般的な相談 3件

イ 特定不妊治療助成事業

(ア) 特定不妊治療費助成事業申請者 47名（延69名）

(イ) 不妊専門相談センター利用者 7名

3 歯科保健事業関係

(1) 母と子のよい歯のコンクール実施状況

青森県歯科医師会と共催事業。健康な歯をもつ母と子を表彰し、幼児や父母及び地域社会の歯科保健への関心を高め、本県の歯科保健の推進を図ることを目的に実施した。

期 日	平成 22 年 6 月 5 日（土）13：00～15：00
場 所	十和田市イオンスーパーセンター十和田店
対 象	43組 受診者：10組
講 評	歯科医師会上十三支部副会長 黒田 雅仁 氏

審査の結果、横浜町の母子1組を県に推薦（第二次選考）した。

(2) 8020運動推進特別事業

ア 地域歯科保健対策推進事業

乳幼児のう歯予防を図るため、保育園の給食担当職員等の歯科保健に対する関心を高め、入所している児のう歯予防と適切な間食を促すことを目的として研修会を実施。

研 修 名	よい歯をつくる保育園給食職員等のための研修会
期 日	平成 23 年 2 月 16 日（水）16:00～18:00
場 所	十和田市南公民館ホール
参加者数	69名（保育園関係者 67名 市町村関係者 2名）
内 容	1 保育園のう歯予防対策の状況（事前アンケート結果から） 健康増進課 主査 磯嶋利恵子 2 講演「食から考えるう歯予防」 講師 十和田歯科院長 吉村法子氏 3 事例発表 (1)「園におけるう歯予防『おやつ編』」 発表者 平畑保育園(三沢市) 給食担当者 種市めぐみ氏 (2)「園と地域で取り組んだう歯予防活動『むし歯、ほら、な〜い!会』」 発表者 第四白菊保育園 保育士 山上竜二氏 4 質疑応答・情報交換

(3) 上十三地域歯科保健推進委員会

期 日	平成 23 年 2 月 22 日（火）
場 所	保健所 2 階会議室
出席者	29名 (歯科医師 3、歯科衛生士 1、産業保健センター 1、知的障害者福祉協会 1、介護支援専門員 1、保育所等関係者 2、食生活改善推進員 1、保健協力員 1、労働基準協会 1、市町村関係者 9、保健所関係者 7)

内 容	1 上十三地域の歯科保健関係統計について 2 平成 22 年度歯科保健活動状況について (1) 乳幼児・学童の歯科保健の取り組みについて (2) 高齢者等の口腔保健の取り組みについて (3) その他取り組みについて 3 その他
-----	--

4 栄養改善指導事業関係

(1) 給食施設栄養管理指導事業

健康増進法に基づき、給食施設の栄養管理の実施について必要な指導及び助言を行い、喫食者の健康増進に寄与する目的で巡回指導及び研修会を行った。

ア 巡回指導

	特定給食施設		特定多数人に対して継続して食事を供給する施設 (特定給食施設を除く)		計		総計
	栄養士有	栄養士無	栄養士有	栄養士無	栄養士有	栄養士無	
指導件数	9	4	22	10	31	14	45
対象給食施設数	45	12	51	27	96	39	135

イ 研修会

期 日	場 所	対 象	参加者数	内 容
平成 22 年 6 月 9 日 6 月 16 日	十和田市 東公民館	給食施設の 栄養士・調 理師等	266 名	1 講義 「衛生管理について」 上十三保健所 大見丈治 2 情報提供 「空気クリーン施設の登録制度について」 上十三保健所 工藤明美 「食事バランスガイドの変更点について」 上十三保健所 磯嶋利恵子
平成 22 年 7 月 1 日	横浜町ふれ あいセンター	上北中北部 保育園給食 担当者	29 名	【講義】 「日本人の食事摂取基準 2010 年版について」 上十三保健所 磯嶋利恵子
平成 22 年 7 月 8 日	十和田市 東公民館	十和田地区 保育園給食 担当者	21 名	【講義】 「日本人の食事摂取基準 2010 年版について」 上十三保健所 磯嶋利恵子

平成 22 年 9 月 29 日	三沢市総合 福祉センター	三沢地区保 育園給食担 当者	19 名	【講義】 「給食事務について」 上十三保健所 磯嶋利恵子
平成 23 年 2 月 16 日	十和田市 南公民館	保育園給食 担当者等	69 名	1 う歯有病者率の推移について 上十三保健所 健康増進課長 東山恵子 2 保育園でのう歯予防対策の紹介 上十三保健所 磯嶋利恵子 3 講演「食から考えるう歯予防」 十和田歯科院長 吉村法子 氏 4 事例発表 (1)「園におけるう歯予防（おやつ編）」 平畑保育園 給食担当者 種市めぐみ 氏 (2)園と地域で取り組んだう歯予防活動 第四白菊保育園 保育士 山上竜二 氏 5 質疑応答・情報交換

(2) 栄養表示、虚偽誇大表示に関する指導

健康増進法第 31 条、32 条の 2 に基づき、食品への不適切な表示に対し食品製造業者等に指導を実施した。

ア 違反表示に対する指導：11 件

イ 事前相談・指導：9 件

(3) 食生活改善推進員の育成

上十三保健所管内食生活改善推進員連絡協議会の事務局として、市町村食生活改善推進員会へ支援した。

管内市町村食生活改善推進員数 (平成 22 年 5 月 11 日現在)

市町村名	会 員 数	市町村名	会 員 数
十 和 田 市	2 6 5	六 戸 町	5 0
三 沢 市	1 3 5	横 浜 町	2 1
野 辺 地 町	3 2	東 北 町	8 1
七 戸 町	4 3	六 ヶ 所 村	3 7
		計	6 6 4 名

(4) 市町村栄養改善業務支援事業

各市町村の栄養改善業務の推進を図ることを目的に、連絡調整会議及び研修会を開催した。

ア 会議及び研修会

開催月日	開催場所	参加者数	内 容
平成 22 年	上十三保健所	8 名	〈会議〉 1 事業説明

7月20日			(1)青森県県民健康・栄養調査について (2)親子ヘルスアップ大作戦事業「親子の歩育・食育推進事業」について (3)知事・大臣表彰について 2 検討事項 (1)管内食生活改善推進員連絡協議会の負担金について (2)管理栄養士臨地実習について 3 情報交換 (1)各市町村重点栄養改善活動（事業）について (2)食育推進計画(市町村版)の策定状況について ・学校栄養職員と連携した食育事業 (3)食生活改善推進員会について ・養成講座の開催について ・肥満予防のための教材の活用について ・運営状況について
平成22年 7月20日	上十三保健所	8名	<研修会> 1 研修伝達・事業報告 (1)総合的地域診断プログラムに関する研究事業 報告者 東北町 主任栄養士 小沼奈緒美 氏 (2)健康・栄養調査の企画・運営・評価に関する研修 報告者 上十三保健所 磯嶋利恵子 (3)リウマチ・アレルギーシンポジウム（食物アレルギー） 報告者 上十三保健所 磯嶋利恵子

イ 市町村への支援

(ア) 食生活改善推進員会研修会等の講師

三沢市：保健師1回、管理栄養士1回

六戸町：食品衛生監視員1回、管理栄養士2回

七戸町：健康増進課長1回、食品衛生監視員1回、管理栄養士1回

六ヶ所村：食品衛生監視員1回

(イ) 食生活改善推進員会総会の出席

十和田市、三沢市、六戸町

(エ) 食育推進計画への支援

十和田市食育推進市民会議出席：管理栄養士1回

横浜町食育推進計画会議出席：所長1回

横浜町食育推進計画案への助言：管理栄養士1回

(5) 外食栄養成分表示店定着促進事業

外食の利用回数が年々増加していることから、外食利用者が栄養情報に基づく適切な料理選択が行えるように外食栄養成分表示店を拡大し、食生活を要因とする生活習慣病予防を図るものである。

平成22年度の表示店認定マーク交付数は、0件であった。

表示店の市町村別内訳（平成22年度末現在 延べ27件）

十和田市	9	七戸町	3
三沢市	11	六戸町	1
野辺地町	1	東北町	2

（6） 調理師業務従事者届け

調理師法第5条の2第1項の規定により、平成22年12月31日現在において就業している調理師の届出は下記のとおりであった。

寄 宿 舎	学 校	病 院	事 業 所	社 施 会 設 福 祉	老 施 人 設 保 健	矯 正 施 設	飲 營 食 業 店	魚 販 介 売 業 類	そ 製 う 造 業 ざ い	そ の 他	計
24	71	70	12	188	19	0	57	0	0	24	465名

（7） 健康・栄養調査

ア 健康・栄養調査

国民の身体状況、栄養摂取量及び生活習慣等の状況を明らかにし、健康増進対策等に必要な基礎資料を得ることを目的として、国民生活基礎調査の単位区からの無作為抽出により選定された地区を国の委託事業として実施する調査である。平成22年度は該当とならなかった。

イ 県民健康・栄養調査

県民の身体及び口腔の状況、栄養摂取状況等を把握し、県及び市町村における健康づくり関係事業等の基礎資料を得るために実施する調査である。平成22年度は2地区が該当となり、下記のとおり実施した。

調査地区及び対象世帯数

1回目	2回目
十和田市……39世帯	六戸町……43世帯
①栄養摂取状況調査……平成22年10月19日	①栄養摂取状況調査……平成22年11月9日
②生活習慣調査……平成22年10月19日	②生活習慣調査……平成22年11月9日
③身体状況調査……平成22年10月21日	③身体状況調査……平成22年11月11日
④歯科疾患実態調査……平成22年10月21日	④歯科疾患実態調査……平成22年11月11日

5 精神保健福祉関係

(1) 入院通院医療事務関係

ア 精神障害者の市町村別・入院通院状況

(平成22年度末)

医療区分 市町村名	総 数		入 院				通 院	その他
			小 計	措 入 置 院	医療保 護入院	その他		
十和田市	男	417	62	2	60		355	
	女	458	58	1	57		400	
	計	875	120	3	117		755	0
三沢市	男	168	28	1	27		140	
	女	200	19	0	19		181	
	計	368	46	1	46		321	0
野辺地町	男	63	8	0	8		55	
	女	89	12	0	12		77	
	計	152	19	0	20		132	0
七戸町	男	77	11	0	11		66	
	女	104	18	0	18		86	
	計	181	30	0	29		152	0
六戸町	男	63	17	0	17		46	
	女	59	18	1	17		41	
	計	122	34	1	34		87	0
横浜町	男	29	9	1	8		20	
	女	30	3	0	3		27	
	計	59	12	1	11		47	0
東北町	男	82	11	0	11		71	
	女	126	21	0	21		105	
	計	208	32	0	32		176	0
六ヶ所村	男	42	9	0	9		33	
	女	37	7	0	7		30	
	計	79	16	0	16		63	0
合 計	男	941	154	4	151		786	0
	女	1,103	155	2	154		947	0
	計	2,044	309	6	305		1,733	0

イ 精神障害者申請等処理状況

(平成22年度)

申請等別			指定医に よる診察 件数	措置	非措置	非措置者の状況	
申請	通報	計				入院	非入院
1	9	10	7	6	1	0	1

ウ 管内精神病院入院状況

(平成22年度末)

	精神総病床数	年度末現在入院患者数	年度末現在措置患者数
十和田市立中央病院	50	24	2
十和田済誠会病院	270	227	1
高松病院	239	245	0
三沢聖心会病院	140	112	0
計	699	608	3

エ 精神科救急医療システム利用状況

(平成22年度末)

十和田市	三沢市	野辺地町	七戸町	六戸町	横浜町	東北町	六ヶ所村	管外	不明	計
70	13	7	4	10	0	9	2	12	10	137

(2) 精神障害者保健福祉手帳所持状況

市町村別手帳所持者数

(平成22年度末)

	手帳所持者 総数	手帳所持者等級別内訳		
		1級	2級	3級
十和田市	573	212	277	84
三沢市	230	110	106	14
野辺地町	85	37	40	8
七戸町	116	45	60	11
六戸町	69	31	30	8
横浜町	37	19	14	4
東北町	124	53	60	11
六ヶ所村	44	20	21	3
計	1,278	527	608	143

(3) 精神保健福祉相談状況

開設状況：年12回(偶数月第3水曜日、奇数月第4水曜日)

嘱託医：十和田市立中央病院精神神経科診療部長、高松病院医局長

ア 相談件数

(平成22年度)

	総件数	再 掲		
		定期	随時	電話
実数	202	12	39	151
延数	535	12	61	462

イ 目的別利用状況(来所者延べ数)

(平成22年度)

相談内容	①受診・入院について	②通院・服薬について	③生活指導について	④経済的問題	⑤性格・行動上のこと	⑥患者への接し方について	⑦アルコールについて	⑧薬物について	⑨人間関係について	⑩施設入所について	⑪社会復帰について	⑫福祉サービスの利用について	⑬ひきこもり	⑭その他	計
定期	6	0	0	0	1	4	0	0	0	0	0	0	0	1	12
随時	18	0	0	5	0	0	0	0	4	0	12	3	0	19	61

ウ 市町村別来所件数（延人数）

（平成22年度）

	十和田市	三沢市	野辺地町	七戸町	六戸町	横浜町	東北町	六ヶ所村	管外	計
定期	5	1	0	0	4	1	0	1	0	12
随時	34	6	1	1	6	1	1	0	8	58

（4） 訪問指導状況

（平成22年度）

事業区分	保健師（相談員含む）				その他の職員				合計			
	一般	職親事業	社会復帰	計	一般	職親事業	社会復帰	計	一般	職親事業	社会復帰	計
実人数	12	2	0	14	0	0	0	0	12	2	0	14
延人数	51	2	0	53	0	0	0	0	51	2	0	53

（5） 社会適応訓練事業（職親制度）実施状況

ア 管内登録協力事業所

22年度末現在総数	（新規登録数）	職種内訳
35ヶ所	2ヶ所	クリーニング業：3、食品製造販売業：5、小売業：4、畜産業：1、医療業：1、飲食業：5、農業：4、福祉関係：6、その他：6

イ 22年度実施状況

利用事業所	訓練者（うち新規）	訓練者の転帰
7ヶ所	10名（6名）	継続：5名
関係機関との連絡状況	協力事業所訪問	
	8回	

(6) 普及啓発活動

平成22年度は、「心の健康づくり事業」、「地域特性を踏まえた自殺対策力強化事業」等により住民や関係者を対象とした健康教室等を実施した。

(実施状況)

	場 所	期 日	テーマ	講 師	対 象 者	参加者数
こころの健康づくり事業	三沢市総合社会福祉センター	平成22年4月14日	心の健康づくり～ストレスに気づき、解消しよう～	上十三保健所 主幹 加賀谷 久子	三沢市保健協力員会	71
	十和田市役所 第一会議室	平成22年5月20日	十和田市セーフコミュニティと自殺予防の取り組み	上十三保健所 所長 反町 吉秀	十和田市職員	146
	十和田市役所 第一会議室	平成22年5月21日	十和田市セーフコミュニティと自殺予防の取り組み	上十三保健所 所長 反町 吉秀	十和田市職員	139
	山梨県看護研修センター	平成22年7月20日	心の健康を支えるための自殺対策の仕組みづくり	上十三保健所 主幹 加賀谷 久子	山梨県内保健福祉事務所職員、市町村職員、地域包括支援センター職員等	63
	野辺地町健康増進センター	平成22年11月16日	こころの健康づくり地域ボランティア養成講座～いま私たちができることは 今後の活動に向けて～	上十三保健所 所長 反町 吉秀	こころの健康づくり地域ボランティア	50
	古牧温泉青森屋天平閣	平成23年1月14日	心の健康づくり～ストレスに気づき、解消しよう～	上十三保健所 主査 泉館 三枝	三沢市保健協力員・食生活改善推進員	63
	十和田市役所	平成23年1月19日	十和田市セーフコミュニティと自殺予防の取り組み	上十三保健所 所長 反町吉秀	十和田市校長会	37
	六戸町就業改善センター	平成23年2月24日	ナイスな親父は眠りから	上十三保健所 所長 反町 吉秀	特定健診の結果、健康上問題のみられた男性住民	10
地域特性を踏まえた自殺対策力強化事業	十和田市文化センター	平成23年2月17日	① 朗読劇の上演 「借金問題は解決できます～悩むのは今日で終わりにしましょう～」 ② 「眠れますか」のロゴ入りスタッフジャンパーの作成及び着用	上十三地域自殺総合対策ネットワーク会議構成員有志	管内の経済・心の相談窓口関係者	113
	十和田富士屋ホテル	平成22年5月24日	支えあう暖かい職場づくり～まずは心の健康づくりから～	上十三保健所 主幹 加賀谷 久子	十和田労働安全衛生協議会、上十三地区食品製造業労働災害防止協議会会員	45
	青森原燃テクノロジーセンター	平成22年12月10日	職場におけるメンタルヘルス対策について	上十三保健所 所長 反町 吉秀	上十三地区商工会職員	41

(7) 組織育成

精神障害者家族会、回復者クラブ、精神保健福祉ボランティアの育成支援を行った。

ア 精神障害者家族会（平成22年度活動状況）

事務局	家族会	会員数	活動内容等	作業所等運営 (名称)
野辺地町	野辺地町精神障害者家族懇談会	4	<ul style="list-style-type: none"> ・総会 ・学習会 ・会員間の交流 ・作業所等の運営 ・当事者の会やデイケアへの協力 ・管内合同の学習・交流会 (事務局を各家族会が担当)	
横浜町	横浜町精神障害者家族懇談会	6		
七戸町	よつばの会	7		
東北町	つつじ家族会	8		つつじ作業所
六戸町	山ざくらの会	10		

家族会	さつき家族会	11	社会福祉法人通所授産施設 「ワークハウスさつき」
	とわだ家族会	16	地域活動支援センター 「ワークハウスとわだ」

イ 精神障害者家族会活動への支援

	回数	内容
とわだ家族会 (十和田市)	2	<ul style="list-style-type: none"> ・総会・第1回学習会出席 ・ワークハウスとわだ運営会議に1回出席
よつばの会 (七戸町)	0	
山ざくらの会 (六戸町)	1	「家族の役割について」の学習(総会)
つつじ家族会 (東北町)	1	つつじ作業所第1回運営委員会に出席
管内家族学習 交流会	5	<ul style="list-style-type: none"> ・平成22年度事務局は、つつじの会(東北町)が担当 ・事前打合せ1回、実行委員会3回出席 ・学習交流会(平成22年10月28日;東北町保健福祉センター) 内容;講演会「地域で共に生きる ~仲間づくりをとおして~」 NPO法人サンネット青森 事務局と当事者夫婦からの講演 グループワーク「日頃の思いをざっくばらんに話しましょう」家族、当事者に分かれて話し合いをし、グループごとの発表とレクリエーション交流をした。

ウ 回復者クラブ

名称	三木野クラブ(十和田)	きざきのクラブ(三沢)
開催回数	月1回 年12回	月2回 年24回
会員数	10名	4名
・内訳	<ul style="list-style-type: none"> ・作業所通所者 3 ・パート 1 ・就労支援 1 ・家事手伝い等 5 	<ul style="list-style-type: none"> ・作業所通所者 1 ・パート 1 ・家事従事 1 ・その他 1

エ 精神保健福祉ボランティア

名 称	会員数	開催回数	活動内容
さつき友の会 (三沢市)	15名	年24回	<ul style="list-style-type: none"> ・自主運営 ・自主活動：毎月第2木「サロンひだまり」を開設 ・きざきのクラブ（回復者クラブ）活動協力 ・小規模作業所への協力 ※平成14年4月に組織化
駒の会 (十和田市)	19名	年24回	<ul style="list-style-type: none"> ・自主運営 ・自主活動：毎月第1土「サロンおあしす」を開設 ・三木野クラブ（回復者クラブ）活動協力 ・地域活動支援センター（ワークハウスとわだ）への協力 ※平成10年4月に看護ボランティアとして組織化。平成15年4月から精神保健福祉ボランティアとして登録。

オ ボランティア、民間団体活動支援事業

場 所	期 日	内 容	参加者数
東北町役場	平成22年 8月20日 10月5日 11月29日	上十三地区精神障害者家族学習交流会の実行委員として、企画、実践、評価に参画した。	延30名
東北町 保健福祉センター	平成22年 10月28日	上十三地区精神障害者家族学習交流会に研修の場、実践の場として参加し、当事者グループワークの進行、発表を担ったり、レクリエーション交流に参加し、交流を深めた。	14名
十和田市文化センター	平成23年 2月17日	研修の場として、自殺総合対策関係者研修会に案内。	13名

(8) 会議等及び研修

ア 精神保健福祉企画会議（所内）

期 日	開催内容	出席者
平成22年 5月19日	平成22年度精神保健福祉事業活動計画	保健総室長、次長、健康増進課長、精神保健福祉担当保健師及び事務担当者
平成23年 3月14日	平成22年度精神保健福祉事業活動評価	

イ 関係者連絡会議

会議名	期 日	開催内容	出席者
精神障害者社会復帰支援協議会	平成 23 年 2 月 7 日	1 社会適応訓練者の評価及び支援についての協議及び新規協力事業所の審議。 2 講話「うつ病と社会復帰」 講師 十和田市立中央病院 メンタルヘルス科診療部長 竹内 淳子 氏	精神科医師、医療機関 PSW、社会復帰施設、職業 安定所、協力事業所、家族 会、市町村担当者
上十三地域精神科救急医療システム連絡調整委員会	平成 23 年 1 月 24 日	精神科救急医療システムの運営状況について報告し、円滑な運営に向けて協議。	連絡調整委員会委員 (上十三医師会、救急医療施設、警察署、消防本部、地域家族会)市町村担当者
精神保健福祉活動打ち合わせ(管内全市町村巡回打合せ)	平成 22 年 6 月	保健所の精神保健福祉業務についての情報提供及び市町村との協働活動や支援の必要な内容について確認。	市町村保健師・事務担当者 保健所保健師・事務担当者
上十三地域自殺総合対策ネットワーク会議	「自殺総合対策のための地域づくり」～経済問題とこころの悩み相談の連携をはかる～をメインテーマに実施。		職域関係者の実務レベルの方々の中から各分野の代表として 27 機関(地域保健医療福祉関係 17 機関(精神科医療機関、民生児童委員会、社会福祉協議会、市民ボランティア、市町村、福祉事務所等) 職域関係 10 機関(労働基準監督署、労働基準協会、ハローワーク、地域産業保健センター、商工会、司法書士会、弁護士会、農協、漁協等)
	平成 22 年 9 月 28 日	・多重債務をテーマにした朗読劇のシナリオ作成及び上演についての、各種相談や自殺対策の取り組み状況について意見交換を行った。参加者 41 名	
	平成 23 年 2 月 17 日	・ネットワーク会議構成員及び研修参加者の自由参加のもと会議を開催した。 ・会議経過の報告、各組織や地域での最近の取り組み状況についての意見交換を実施。 参加者 113 名 (上十三地域自殺総合対策関係者研修を併催)	

ウ ケース会議等

会議名	場 所	対応状況	備 考
心身喪失者等医療観察法に基づくケア会議	十和田市立中央病院	事例 3 ・ケア会議 (2 回) ・家庭訪問 (2 回) ・ケース面接 (2 回)	十和田市立中央病院通院 (1 回/2 週) 十和田済誠会病院デイケア (5 回/週)
ケア会議等	(市町村) 三沢市、野辺地町 六戸町、東北町 (医療機関) 十和田市立中央病院、青南病院	<ケース検討会議> 三沢市(7 回)、野辺地町(2 回)、 六戸町(2 回)東北町(3 回)、十 和田市立中央病院 3 回(十和田 市 2、六戸町 1)、 青南病院 1 回(三沢市)	
アルコール保健普及啓発事業(ケース検討会)	野辺地町立病院 会議室	事例検討を通し、関係者同士のネットワークの強化を図る。 1 ケース検討 ・アルコール問題を抱えるケースへの対処方法について検討。	野辺地町立病院職員 野辺地町保健福祉関係職員、 上北地域健康福祉部職員 (保健総室、福祉こども総室)

エ 研修会等

研修会名	期 日	内 容	参集範囲	参加者数
「地域特性を踏まえた自殺対策力」強化事業	平成 23 年 2 月 17 日 (開催場所： 十和田市文化センター)	上十三地域自殺総合対策関係者研修 講演 「東京都足立区におけるこころといのちの相談支援事業の取り組み ～保健と福祉の枠を超えて～」 講師 東京都足立区足立保健所 こころといのち支援担当係長 馬場 優子 氏 ・講話及び相談場面の再現	地域保健医療福祉関係者 (精神科医療機関、市町村関係職員、民生委員、ボランティア等)、職域関係(司法書士会、十和田労働基準監督署、上北労働基準協会、地域産業保健センター、ハローワーク、商工会、農協、漁協等)	113 名

(9) 精神障害者地域移行支援特別対策事業

精神科病院に入院している精神障害者のうち、受入れ条件が整えば退院可能である者に対し、円滑な地域移行を図るための支援を行い精神障害者の社会的自立を図ることを目的に、19 年度から開始した。

ア 受託事業所：地域活動支援センター「アセンドハウス」

イ 利用者：なし

ウ 精神障害者社会復帰支援協議会において、実施に必要な協議及び検討を行う。

6 難病関係

(1) 特定疾患治療研究事業

原因が不明で治療方法が確立していない、いわゆる難病のうち下記の特特定疾患については、治療が極めて困難であり、かつ、その医療費も高額であることから、医療の確立、普及を図るとともに医療費の自己負担軽減を図ることを目的としている。

平成 21 年 10 月 1 日より 11 疾患が追加され、対象疾患が 56 疾患になった。

(追加疾患名：疾患番号 46～56)

ア 特定疾患医療受給者状況 (市町村別)

(平成 23 年 3 月 31 日現在)

疾患番号	疾患名	市町村	管内計	市町村									
				十和田市	三沢市	野辺地町	七戸町	六戸町	横浜町	東北町	六ヶ所村		
1	ベーチェット病		22	4	3	7	1	1	1	4	1		
2	多発性硬化症		17	2	9	2	2	1		1			
3	重症筋無力症		19	7	8	1		1			2		
4	全身性エリテマトーデス		68	23	14	6	6	6	2	2	9		
5	スモン		0										
6	再生不良性貧血		14	3	1	1	4	1	1	2	1		
7	サルコイドーシス		24	7	4	3	3		2	4	1		
8	筋萎縮性側索硬化症		13	3	1	3	1		1	4			
9	強皮症、皮膚筋炎及び多発性筋炎		24	5	7	1	4	1	1	5			
10	特発性血小板減少性紫斑病		41	15	11	3	2	3		6	1		

11	結節性動脈周囲炎（顕微鏡的多発血管炎）	7	2	3					1	1
12	潰瘍性大腸炎	139	55	21	13	11	6	6	19	8
13	大動脈炎症候群	7	1	3			1		1	1
14	ビュルガー病	16	5	8	1		1			1
15	天疱瘡	9	1	2		3	2		1	
16	脊髄小脳変性症	153	90	13	7	21	8	2	10	2
17	クローン病	46	12	8	6	7	4	2	3	4
18	難治性の肝炎のうち劇症肝炎	2			2					
19	悪性関節リウマチ	7	3	1	1	1		1		
20	パーキンソン病関連疾患（進行性核上性麻痺、大脳皮質基底核変性症及びパーキンソン病）	170	58	33	19	12	11	6	20	11
21	アミロイドーシス	2					1		1	
22	後縦靭帯骨化症	67	22	18	5	4	4	3	8	3
23	ハンチントン病	2		2						
24	モヤモヤ病（ウィリス動脈輪閉塞症）	7	2	2	3					
25	ウェゲナー肉芽腫症	1	1							
26	特発性拡張型（うっ血型）心筋症	14	10	2					1	1
27	多系統萎縮症（線条体黒質変性症、オリブ橋小脳萎縮症及びシャイ・ドレーガー症候群）	14	1	3	3		1	1	3	2
28	表皮水疱症（接合部型及び栄養障害型）	0								
29	膿疱性乾癬	4	2	1	1					
30	広範脊柱管狭窄症	6	1	1		1			3	
31	原発性胆汁性肝硬変	27	9	6	6	2	1		2	1
32	重症急性膵炎	1	1							
33	特発性大腿骨頭壊死症	29	9	4	2	7	2	1	3	1
34	混合性結合組織病	18	6	6	2	1			1	2
35	原発性免疫不全症候群	1			1					
36	特発性間質性肺炎	4		3	1					
37	網膜色素変性症	21	5	10	0	2	1		1	2
38	プリオン病	1	1							
39	肺動脈性肺高血圧症	3	1		2					
40	神経繊維腫症	5	1						3	1
41	亜急性硬化性全脳炎	0								
42	バット・キアリ（Budd-Chiari）症候群	0								
43	慢性血栓塞栓性肺高血圧症	0								
44	ライソゾーム病（ファブリー[Fabry]病含む）	0								
45	副腎白質ジストロフィー	0								
46	家族性高コレステロール血症（ホモ接合体）	0								
47	脊髄性筋萎縮症	0								
48	球脊髄性筋萎縮症	0								
49	慢性炎症性脱髄性多発神経炎	4	2		2					
50	肥大型心筋症	7	5			1			1	
51	拘束型心筋症	0								
52	ミトコンドリア病	1	1							
53	リンパ脈管筋腫症（LAM）	0								
54	重症多形滲出性紅斑（急性期）	0								
55	黄色靭帯骨化症	0								
56	間脳下垂体機能障害（PRL分泌異常症、ゴナドトロピン分泌異常症、ADH分泌異常症、下垂体性TSH分泌異常症、クッシング病、先端巨大症、下垂体機能低下症）	12	3	1	3				5	
合計		1,049	379	209	107	96	57	30	115	56

イ 特定疾患医療受給者状況（年齢別）

（平成23年3月31日現在）

疾患番号	疾患名	年齢階層	合計	0	10	20	30	40	50	60	70
				9歳	19歳	29歳	39歳	49歳	59歳	69歳	70歳以上
1	ベーチェット病		22			0	5	3	7	4	3
2	多発性硬化症		17			5	4	2	3	1	2
3	重症筋無力症		19	1		2	1	4	3	4	4
4	全身性エリテマトーデス		68		4	7	14	11	17	10	5
5	スモン		0								
6	再生不良性貧血		14		1	1	1		3	3	5
7	サルコイドーシス		24			3	2	6	4	6	3
8	筋萎縮性側索硬化症		13							9	4
9	強皮症、皮膚筋炎及び多発性筋炎		24			1	1	4	8	5	5
10	特発性血小板減少性紫斑病		41	4	3	2	1	9	2	9	11
11	結節性動脈周囲炎（顕微鏡的多発血管炎）		7				3		1		3
12	潰瘍性大腸炎		139		4	13	35	24	29	21	13
13	大動脈炎症候群		7			1		1	3		2
14	ピュルガー病		16					4	9	2	1
15	天疱瘡		9						3	2	4
16	脊髄小脳変性症		153		1		2	3	14	49	84
17	クローン病		46		4	11	10	10	4	5	2
18	難治性の肝炎のうち劇症肝炎		2				1		1		
19	悪性関節リウマチ		7				2	1		2	2
20	パーキンソン病関連疾患（進行性核上性麻痺、大脳皮質基底核変性症及びパーキンソン病）		170					1	11	33	125
21	アミロイドーシス		2						1		1
22	後縦靭帯骨化症		67				2	4	12	15	34
23	ハンチントン病		2					1		1	
24	モヤモヤ病（ウィリス動脈輪閉塞症）		7			2		3	2		
25	ウェゲナー肉芽腫症		1				1				
26	特発性拡張型（うっ血型）心筋症		14						5	6	3
27	多系統萎縮症（線条体黒質変性症、オリブ橋小脳萎縮症及びシャイ・ドレーガー症候群）		14						2	8	4
28	表皮水疱症（接合部型及び栄養障害型）		0								
29	膿疱性乾癬		4					2		2	
30	広範脊柱管狭窄症		6				1		2		3
31	原発性胆汁性肝硬変		27						10	6	11
32	重症急性膵炎		1		1						
33	特発性大腿骨頭壊死症		29			1	6	6	9	3	4
34	混合性結合組織病		18				6	4	4	3	1
35	原発性免疫不全症候群		1				1				
36	特発性間質性肺炎		4						1	1	2
37	網膜色素変性症		21			2	2	1	3	4	9
38	プリオン病		1								1
39	肺動脈性肺高血圧症		3					2			1
40	神経繊維腫症		4		1	1	0	2	1		
41	亜急性硬化性全脳炎		0								
42	バット・キアリ（Budd-Chiari）症候群		0								
43	慢性血栓性肺高血圧症		0								
44	ライソゾーム病（ファブリー[Fabry]病含む）		0								
45	副腎白質ジストロフィー		0								
46	家族性高コレステロール血症（ホモ接合体）		0								
47	脊髄性筋萎縮症		0								
48	球脊髄性筋萎縮症		0								

49	慢性炎症性脱髄性多発神経炎	4				1		1	2	
50	肥大型心筋症	4					1	1	1	1
51	拘束型心筋症	0								
52	ミトコンドリア病	1							1	
53	リンパ脈管筋腫症（LAM）	0								
54	重症多形滲出性紅斑（急性期）	0								
55	黄色靱帯骨化症	0								
56	間脳下垂体機能障害（PRL分泌異常症、ゴナドトロピン分泌異常症、ADH分泌異常症、下垂体性TSH分泌異常症、クッシング病、先端巨大症、下垂体機能低下症）	12			3	2	3	1	1	2
合 計		1,049	5	19	55	104	114	179	218	263

（２） 難病特別対策推進事業

目的：難病患者やその家族の抱える医療及び日常生活上の不安や悩みに対し、専門医等による指導・助言などを行う医療相談を実施し、また、医療相談に参加できない要支援難病患者やその家族に対しては、保健師や看護師等の相談員による訪問相談を実施することにより、在宅医療の推進を図ることを目的とする。

ア 難病患者地域支援対策推進事業

（ア） 難病患者等相談事業

a 医療相談等

回	期 日	場 所	内 容	参加者数
1	平成 22 年 9 月 8 日	上十三保健所	1 講話「おさえておきたい食事のポイント」 講師：上十三保健所 磯嶋管理栄養士 2 講演「潰瘍性大腸炎・クローン病を理解し、 病気と付き合うために」 講師：三沢市立三沢病院 医療局長 棟方 正樹 氏 3 交流会、情報交換	15名
2	平成 22 年 10 月 1 日	十和田市 中央公民館	1 情報提供「まるめろの会の活動について」 講師：まるめろの会長 今井 則三 氏 2 講演「後縦靱帯骨化症の基礎知識と最新ト ピックス」 講師：弘前大学大学院医学研究科 整形外科学講座 助教 沼沢拓也 氏 3 情報交換と交流会	15名
3	平成 22 年 10 月 29 日	十和田東公民館	1 講演「パーキンソン病の理解と日常生活の 過ごし方」 講師：十和田東病院 副院長 前田 泰久 氏 2 個別相談	27名 個別相談 2名
4	平成 22 年 11 月 10 日	十和田東公民館	1 講演「脊髄小脳変性症の理解と日常生活の過 ごし方」 講師：六戸国民健康保険病院 副院長 高橋 悟 氏 2 個別相談	20名 個別相談 3名

b 訪問相談（難病患者等訪問相談員による訪問相談）

訪問相談 件数	疾患群別内訳						
	神経・筋肉 疾患	循環・呼吸器 疾患	骨・関節系 疾患	膠原病	消化器 疾患	血液疾患	皮膚疾患
(22) 61	(20) 58	(1) 2	(1) 1	0	0	0	0

() 内は実数

(3) 保健師による訪問指導

訪問件数	疾患別内訳						
	筋萎縮性 側索硬化症	脊髄小脳 変性症	パーキン ソン病	後縦靭帯 骨化症	多系統 萎縮症	ハンチン トン病	その他
(18) 20	(7) 7	(5) 6	(1) 1	(1) 1	(2) 2	(1) 2	(1) 1

() 内は実数

(4) 在宅重症難病患者家族支援事業

ア 目的：在宅療養を行っている重症難病患者(人工呼吸器を装着した筋萎縮性側索硬化症の患者をいう。)を常時介護している家族が、社会的理由が生じた場合並びに休息をとる場合に看護人が家族に代わって介護することにより、家族の社会参加を促すとともに、ALS患者の在宅療養の環境を整え、患者、家族の生活の質の維持向上を図ることを目的とする。

イ 利用回数：1ヶ月1回を限度とし、1回あたりの利用時間は、7時間とする。

ただし、対象者の状況により、1回あたりの利用時間を4時間とし、1ヶ月の利用回数を2回まで分割することができる。

ウ 管内利用者：1名

(5) 健康相談状況

面接及び電話による随時健康相談を実施している。また、新規及び継続の医療受給者証申請手続き、変更届の手続き等に際し、個別面接相談の実施及び電話による相談等交付時面接及び申請手続きや医療機関等の変更で来所した際の個別面接相談の実施及び電話による相談等にも対応している。

(平成23年3月末)

健康相談延件数	個別面接相談	電話相談
164件	130件	34件

(6) 患者会の育成・自主活動支援

ア 特定疾患患者会「みさわ・もみじの会」への支援

平成9年3月27日に患者会として発足し、平成18年度から、自立した患者会として活動を開始している。保健所は会の企画・運営等に関するアドバイスや定例会の講話の講師等、活動を支援している。また、特定疾患医療受給者証の新規受給者に対して、「みさわ・もみじの会」の紹介のリーフレットを配布し、新規入会者の拡大のために協力している。

(7) 関係機関との連携、地域の療養環境整備等

ア 関係機関との連携について

処遇困難ケースについて、関係者間（訪問看護、訪問介護、地域包括支援センター）でケースカンファレンスを行った。

課題や今後の対応について協議することができた。

イ 関係者への難病保健活動の周知について

市町村地域ケア会議において、「保健所の難病事業について」活動紹介を行った。

7 石綿（アスベスト）に関すること

(1) 環境再生保全機構により送付されたポスター、リーフレットを保健所内に掲示し、住民に対しての周知を行った。

(2) 石綿（アスベスト）関連事業場周辺にいた住民の健康不安に対応するため、健康に関する問題について相談を受け、石綿による健康被害を受けた方が生活・療養等の補償が受けられるように、被害救済給付申請の受付を行った。

《相談受付実施状況》

相談内容	件数	対応
石綿健康被害救済制度に関する相談	1	アスベスト解体関連の事業者から、県内でアスベスト健診が受けられる医療機関についての問い合わせに医療機関紹介。

8 保健・医療・福祉包括ケアシステムの推進関係

人口の高齢化、疾病構造の変化、ノーマライゼーションの意識の高まり等に伴い、住民のニーズが保健、医療、福祉を通じた総合的なものとなる中で、県民だれもが、生涯にわたり住み慣れた地域で、健康で安心した生活を送ることができるよう、保健、医療、福祉サービスが利用者本位の視点で、総合的・一体的に提供されることが望まれる。

その実現のために、住民に最も身近な市町村単位で保健、医療、福祉ケアシステムを構築することが必要であり、管内市町村における包括ケアシステムの推進・充実にに向けた取り組みに関して支援を行っている。

(1) 上十三地域保健・医療・福祉包括ケアシステム推進会議

保健・医療・福祉包括ケアシステムの構築に向けて、二次保健医療圏及び市町村の実情に応じた体制整備について協議・検討を行うことを目的に、会議を開催している。

ア 期 日 平成23年2月25日（木）14:00～16:00

イ 場 所 サンロイヤルとわだ

ウ 出席者数 48名（関係団体委員11名、市町村委員14名出席）

エ 報告事項 上十三保健所橋渡しネットワーク委員会の活動状況

オ 協議事項 災害時要援護者支援について

(ア) 話題提供「災害時要援護者支援の具体的取り組み」について

話題提供者 七戸町社会生活課 主幹 大沢田 慎一 氏

- (イ) 各市町村における取り組み状況について
- (ウ) 各団体における取り組み状況について

(2) 上十三地域保健・医療・福祉包括ケアシステム推進チーム会議

ア 第一回上十三地域保健・医療・福祉包括ケアシステム推進チーム会議

(ア) 期 日 平成22年12月21日(火)

(イ) 協議事項

- a 平成22年度上十三地域保健・医療・福祉包括ケアシステム推進会議の開催について
- b 平成22年度上十三地域保健・医療・福祉包括ケアシステム推進会議の協議事項について

イ 第二回上十三地域保健・医療・福祉包括ケアシステム推進チーム会議

(ア) 期 日 平成23年2月18日(金)

(イ) 協議事項

- a 平成22年度上十三地域保健・医療・福祉包括ケアシステム推進会議の進行および運営に係る事項について
- b 会議当日資料について
- c 組織会について

(3) 橋渡しネットワーク委員会への支援

本委員会は、医療機関の利用者が、退院して地域に生活の場を移行する場合に、適切な退院調整や情報提供を行い、地域において適切なサービスを受けられるように、また、地域で療養している方が医療機関に入院する場合に、スムーズに移行できるように、医療機関と地域を結ぶ橋渡しのためのネットワークを構築することを目的として活動している。

委員会活動は、本委員会が作成した「橋渡しネットワークシート」の周知活動に重点を置き、「橋渡しネットワークシート」の活用について情報提供や、上十三地域橋渡し看護・関係機関名簿の改訂および周知を行った。

ア 委員 10名

施設名及び所属・職種等	備考
十和田市立中央病院 地域医療連携室 次長(看護師)	委員長
十和田第一病院 看護部 総看護師長	副委員長
公立野辺地病院 看護長	
公立七戸病院 地域医療連携室 看護師長	
老健とわだ 在宅介護支援センター ケアマネージャー(看護師)	
十和田市介護保険課課長補佐(社会福祉士)、保健師	委員1名、オブザーバー1名
十和田市健康推進課 課長補佐(保健師)	
野辺地町地域包括支援センター 保健師	
七戸町地域包括支援センター 保健師	
上十三保健所健康増進課 保健師	

イ 会議開催状況

回数	期 日	時 間	場 所
1	平成22年 5月28日 (金)	15:00~17:00	十和田市立中央病院会議室
2	平成22年 9月24日 (金)		
3	平成22年11月26日 (金)		
4	平成23年 2月18日 (金)		

(4) 保健・医療・福祉地域連携情報共有促進事業

住民が住み慣れた地域で健やかに生活するためには医療と介護の連携が重要であることから医療機関側の連携拠点である地域医療連携室の担当者と地域包括支援センター等の職員が患者の退院調整等に係る切れ目のないサービスを提供するために必要な情報共有のあり方について話し合う意見交換会を開催し、現状の把握及び課題の掘り起こしを行う。

ア 開催日時 平成23年2月25日 (金) 13:00~14:00

イ 場 所 サンロイヤル十和田

ウ 出席者数 18名 (管内地域包括支援センター職員18名)

エ 情報交換、意見交換

介護保険事業における二次予防事業 (旧:特定高齢者事業) について

(ア) 実施要綱改正後の各市町村の取り組み状況について (現状と問題点・課題等)

(5) 介護予防事業及び市町村支援 延べ21回

各市町村の包括ケア会議、サービス調整会議、ケアマネジメント会議等へ委員として出席し支援した。

9 地域保健支援のための総合的地域診断システム構築事業

総合的地域診断システム手法定着事業は、県が開発を進めてきた保健統計等の量的データと面談等の質的データを活用して総合的に地域診断を行うためのツール・手法を完成させ、全県的に普及定着させることが目的である。

総合的地域診断システム推進事業は、県及び各保健総室 (保健所) における情報分析機能を強化するとともに、保健所関連業務に係る各種情報をデータベース化する過程を通して質的データの分析手法を確立するものである。

(1) 総合的地域診断システム手法定着事業

- ・管内モデル市町村の選定を行い、東北町に決定。
- ・県主催の事業説明会、研修会、検討会に東北町と一緒に出席。
- ・東北町は開発したツールを使い、特定健診データを集計、分析を行い、県に報告。
- ・県は県内7モデル市町村の健診データと面接データを集計、分析した。

(2) 総合的地域診断システム推進事業

- ・政策課から保健所における保健情報 (難病、精神、人口動態) の管理状況の照会が

あり、回答した。

- ・政策課主催の難病業務担当者会議で難病業務のデータ化にむけて検討した。
- ・県からデータ入力項目が示され、その項目に沿って22年度新規分の難病業務データを入力した。